

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30 年 12 月 14日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471502447		
法人名	佐々木産業有限会社		
事業所名	グループホームあけぼのあゆみホーム		
所在地	広島県福山市曙町五丁目5番25号 (電話) 084-954-5704		
自己評価作成日	平成30年11月26日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3471502447-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3471502447-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年12月10日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

菜園を利用者と一緒に行ったり、ウッドデッキを活用する事で閉鎖的にならないように ゆったりと生活して頂けるように工夫をしています。バリアフリーの平屋建てに2ユニットあり、ユニット間を自由に行き来できるため、入居されている方の状態に合わせて新しい人間関係が構築できるように支援しています。出来る事は見守り・時間がかかっても残存機能を活用してもらい難しいところはお手伝いをしてより快適に安全に生活できるように支援してます。南海地震の津波対策・水害対策として敷地内に鉄筋の避難所を作り、備品等の充実に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

この1年間の特徴的な取組みとして第一に、「排泄の自立支援」の深化がある。即ち、利用者の経済的負担も考慮し、安易な紙おむつ・紙パンツの着用は避け、布パンツやパッドに改善した自立支援に取り組んでいる。管理者が東京の日本コンチネンス協会研修（排泄ケアの専門研修）を受講し、正しい知識の習得、的確な用具の選択等を学んで、職員への伝達講習や多様な排泄ケアの実践（排尿チャートの活用・下剤に頼らない便秘対策等）に繋げ、気持ちよく排泄できる様取り組んでいる。第二に、「災害対策」の深化がある。即ち、事業所はハザードマップの浸水地域に該当しており、地域住民数名の参加の下、毎年地震・津波避難訓練を実施している。南海トラフ大地震等による災害対策として事業所裏に4mの高台（鉄筋の避難所）を建設し、運営推進会議でも行政や地域住民と情報・意見交換をしながら具体的な実践課題の解決に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目( さくらユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	管理者、職員とで現状を踏まえた内容に改訂し、毎日、読み上げている。	開設時に策定された理念は4年前に全職員の協議を経て改定され、それを事業所内に掲示し実践上の立ち返るべき原点として位置付けると共に毎日の申し送りでも唱和し理念の徹底を図っている。利用者への対応や状態の変化等について、ケアの振り返りや気付きを通して意見交換する中で、理念の実践・達成度を評価している。	開設時の理念の改定から4年を迎え、理念の周知や実践につき、より深く取り組むことで更なる向上を期待したい。例えば、理念の下に事業所で分り易い具体的な年間行動目標・計画(事業所・職員個人)を設定し、定期的に達成度を検証する案など、評価の検証過程を「可視化」することで、職員間の認識を共有化し、理念の深化・定着を期待したい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	1、町内清掃に参加している。 2、施設の災害訓練に地域の方々の参加を頂き実施している。 3、学区文化祭に作品を展示して、参加している。	日頃から近所への散歩や買い物等で地域交流を深めている。町内会に加入し夏祭り・敬老会・学区文化祭等の地域行事に利用者が参加したり、職員も町内清掃に参加している。又、事業所の避難訓練に近隣住民が参加したり、中学・高校生の職場体験やブルガリアからバラの女王の訪問等、相互交流・世代間交流もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	今後の課題として取り組むことにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	定期的に地域関係者・団体・家族市役所からの参加を得て意見等を伺い実践に生かしている。	会議は定期的開催され、地区組長・地域包括支援センター職員が毎回、老人会会長・民生委員、家族がほぼ毎回、町内会役員・市担当課職員が時々、時に利用者が参加している。会議では議題を毎回設定し、それに関する事業所の現況報告と共に意見交換が行われ、参加者からの助言を災害対策に活かした経緯がある。	
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営課題についてその都度市担当者と協議・指導を得て取り組んでいる。	運営推進会議には市担当課又は地域包括支援センター職員が毎回参加し情報共有を図っている。又、職員が認知症キッズサポーター養成講座講師を務めたり、生活保護に関しても担当課職員の定期的訪問や市主催の虐待等の研修会や地域包括支援センター主催の認知症研修会に出席する等、連携強化に努めている。	

自己評価	外部評価	項目( さくらユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p><b>○身体拘束をしないケアの実践</b></p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員の研修に努めている。全体会議で職員同士の協力体制の会議をしている。</p>	<p>現在拘束例はない。マニュアルや内・外部研修会を通して職員は「拘束はしない」必要性を認識し、具体的なケアの中で実践を重ねている。日中は玄関を施錠せず玄関の開閉を感知するセンサーでの見守りや利用者によっては夜間ベッド下に床センサー・マットを設置し、拘束廃止に向けた側面支援を行う時もある。</p>	
7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>職員を研修会に参加させ理解を深めている。運営推進会議の議題にも取り上げ意見交換に努めている。</p>		
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>課題が生じた場合、関係機関等の指導を受けて対応している。</p>		
9		<p><b>○契約に関する説明と納得</b></p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入・退居時等に制度・考え方等説明し、理解を得て実施している。</p>		
10	6	<p><b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b></p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議へ家族の出席を得て意見を伺い説明している。</p>	<p>利用者の要望は日々の会話を通じて把握し、家族とは電話連絡、面会時、介護計画更新時や運営推進会議等で管理者や職員が積極的に聴くように努めている。意見箱の設置もあるが苦情等は特にない。利用者のやりたい事・食べたい物等の要望に応え、家族の知りたい情報を提供する等、要望に即応できる体制がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目( さくらユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月定期的に会議を設け考え方の説明、現場の意見を聞く機会を設けている。</p>	<p>毎月の全体会議、ユニット会議、毎日の申し送りや随時又は年1回各職員の自己管理シートを用いての個別面談を通し管理者は職員の意見を聞く機会を設け、介護方法・業務上の提案等に対する支援体制を採っている。職員同士で話しやすい雰囲気があり、職員の要望により夜間専従職員の雇用が実現した経緯がある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>1、介護度の軽減・努力者に対する支援策がある。 2、定期的に評価基準を設け、給与支援策（入社6年目より3年毎）がある。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>1、研修参加機会の実施している。 2、資格取得費用の支援している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>同業者と勉強会で、サービスの向上へつながっていくにはどうしていくかに留まっているので、今後の取り組みとなる。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>利用前にしっかりとアセスメントを行い本人との会話の中でニーズを把握できるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( さくらユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	見学、申込時に来所されたときにご家族の不安や要望等を時間をかけて話を聞いている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	見学、申込時に、他事業所のサービスについても説明をし最適なサービスが受けられるように支援している。		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	ホームで生活していく上で、手伝って頂ける事(掃除・洗濯・軽作業など)は、お願いをして一緒に作業を行い感謝の気持ちを伝えている。		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	お盆やお正月の外出や外泊への受け入れや季節の行事への参加をお願いしている。又病院への付き添いをお願いするなど連携を摂っている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	友人・知人の面会も積極的に受け入れている。面会にはスタッフも同席し会話が円滑に進むように支援している。	「気軽に訪問できる事業所作り」「地域との絆」を大事にしており、地域行事等で知人と挨拶を交わしたり、家族の協力も含め美容院や墓参り等の外出を通して馴染みの場所で馴染みの顔や声と何気ない日常を楽しめる様に支援している。受診の帰りに元の職場や芦田川を巡り、束の間の寄り道を楽しんだ例もある。	

自己評価	外部評価	項目( さくらユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士で交流が出来る様にスタッフが間に入り話をしたりゲーム等で楽しめる様に援助している。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院退居の方は病院にお見舞いに行ったりご家族へ近況を尋ねたりしている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中でしっかりと話を聞き会話の中に隠された本人の思いをくみ取れるように努めている。スタッフ間で話し合い本人にとって何がベストか意見を出し合っている。	職員は利用者の気持ちを大事にしつつ、ゆっくり話す時間を作り、その方の行動を理解する様努め、例えば干し柿作り等、利用者の強味に意識を向けていく。その情報は申し送り・業務日誌等に残し職員間で共有している。又、意思疎通困難な利用者には眼差し等をよく観察して思いを推測し、関係作りをしている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時はご家族から生活歴を入居後は日々の生活の中で本人に昔話としてこれまでの生活や趣味嗜好等を聞き出す努力をしている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個人記録に一日を通しての生活状況、身体状況等々を記入している。		

自己評価	外部評価	項目( さくらユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>常にスタッフ間で情報交換を行い話し合いをしている。月に一度のユニット会議ではケアプラン作成に向けて意見を出し合っている。医師は往診時にご家族は来所時に意見を頂いている。</p>	<p>家族の意向等を踏まえ計画作成担当者が原案を作成し、ユニット会議で検討して、家族の面会時に計画の説明・同意を得て本案としている。モニタリングや計画の見直しは三ヶ月毎に計画作成担当者が行う。1日3個できる事をする目標で得意な家事に繋がったり、1日1回笑う目標で笑いのツボ探しに繋がった例もある。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個人記録への日々の言動や体調等の気づきを記入し、スタッフ全員が情報を共有している。その情報を元に介護計画を見直しをしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>基本として当グループホーム以外のサービスは利用していないが、家族の要望には柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の夏祭りや文化祭に作品を展示する等の参加をしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時にご家族の希望の上かかりつけ医を決めている。ホームの提携医は2週間に1度往診があり、24時間対応してもらえる体制を取っている。</p>	<p>入居前の主治医の受診継続も可能だが、全ての利用者は協力医を主治医とし、協力医からユニット毎に隔週往診がある。皮膚科からは往診もあるが、その他の専門医の受診は家族又は事業所の協力による。歯科については1年に1回全利用者に往診があり、随時の受診と相俟って適切な医療が受けられる体制である。</p>	

自己評価	外部評価	項目( さくらユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	かかりつけ医の看護師に24時間いつでも相談できる体制となっている。特変時は指示を仰ぎ受診や往診の対応。毎週個々の状態報告している。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はスタッフが付き添い情報提供を行っている。退院時はホームで生活する上での注意点等サマリーを頂いている。入退院時はご家族の相談に応じている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時にご家族へ十分説明し同意を得ている。状態の変化があればその都度ご家族に、医師と共に話し合いを行い、出来る限りホームで支援をしている。	利用開始時に「重度化した場合の対応にかかる指針」にて基本的な方針を説明し、了承を得ている。過去に看取り経験もあり、看取りのマニュアルも整備され、受け入れ体制はあるので、希望があればできる範囲で適切な支援を行う考えであるが、最終的には家族希望により医療機関へ転院するケースが多い。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故に全てのスタッフが対応できるようにユニット会議で話し合いの場を設けている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の消防訓練を行い利用者の方も参加している。津波等の水害に備えて裏の高台へ避難訓練も同時に行っている。訓練には事前に近所にお知らせし参加を呼び掛けている。	消防署の指導の下、年2回の避難訓練の内1回は地域住民数名の参加を得て、地震・津波避難訓練を実施している。南海トラフ大地震等による災害対策として事業所裏に4mの高台を建設し、運営推進会議でも行政や地域住民と情報交換をしている。又、火災訓練では夜間を想定したり、利用者も参加して実施している。	



自己評価	外部評価	項目( さくらユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人一人の性格を理解し、声掛けをするようにしている。	研修で職員の幅広い知識の習得と資質向上を図る体制もある。尊厳に配慮してケアに関わり、利用者に対する言葉かけも不適切な対応には指導を行い、気づく事の重要性や望ましい対応を意識できる職員育成に取り組んでいる。職員同士が話しやすい雰囲気であり、気づいた点があれば職員同士で声をかけあっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者が希望することに対して傾聴の態度を崩さず、自己決定できるように促しや助言を心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	身体機能や体調に応じて一日をその人らしく生活できるよう散歩や歌などでメリハリをつけるように心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	季節に合わせて洋服を入れ替えたり、ご家族に連絡し足りないものを持ってきてもらっている。整髪、髭剃りなど声掛けしながら行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	準備、片付け等出来る人はいないので、スタッフが行っているが、一人一人に合わせた食事形態でしっかり食べて頂けるように工夫をしている。毎週土曜日は手作りおかずを提供し、ホームの菜園の野菜も食卓に出ることもある。	朝食・土曜の3食は手作り、昼・夕の副食はケータリングにて食材が届き、可能な利用者に準備・調理等を手伝って頂く。土曜や誕生日の献立で焼肉等、利用者の好みを反映させている。菜園の野菜を献立に活かしたり、苺のジャム・ぼた餅等、おやつ作りも好評である。車いすから椅子に移り食事姿勢を整えている。	

自己評価	外部評価	項目( さくらユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p><b>○栄養摂取や水分確保の支援</b></p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事量・水分量を個別記録に記録している</p>		
42		<p><b>○口腔内の清潔保持</b></p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>歯磨きが自分で出来る場合は、声掛け・誘導・見守り援助を行っている。ご自分で出来ない方はうがい、義歯の洗浄の支援を行っている。</p>		
43	16	<p><b>○排泄の自立支援</b></p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄のチェック表を用いて、パターンや習慣を把握し声掛けやトイレ誘導を行っている。全介助の方でも時間誘導・排泄状態の確認を行うようにしている。</p>	<p>排泄誘導表等により各人の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を基本としている。排泄の自立支援として紙おむつから紙パンツへの移行や夜間排泄時の転倒防止の為、床センサー・マット等の設置や可動式手すり等の環境整備もある。又、管理者が排泄ケアの専門研修を受講し、多様な排泄ケアの実践に繋げている。</p>	
44		<p><b>○便秘の予防と対応</b></p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事量・水分量・排泄状況を記録して、利用者に合わせて対応を行っている。室内外の歩行・軽作業・家事・ラジオ体操・レクリエーション等で、体を動かすようにしている。</p>		
45	17	<p><b>○入浴を楽しむことができる支援</b></p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>利用者の希望の日数や時間帯、体調に配慮して、好みの湯加減、バスクリンなどで入浴して頂いている。状況や必要に応じて入浴日の変更を行っている。</p>	<p>週2～3回の午後入浴が基本だが、利用者の体調や入浴習慣により柔軟に関わっている。利用者の重度化や浴槽形状から浴槽に浸かる方は少なく、殆どは座って浴びれるミストシャワーを利用している。冬至に柚子風入浴剤で寛ぎ、入浴後には保湿剤で皮膚ケアを行い、風呂嫌いの方には波長合わせで対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目( さくらユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<b>○安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	一人ひとりの状態や生活習慣に 応じて、寝具や室温、体勢に気 を付けている。日中も状況や体 調に応じて休息をとるようにし ている。		
47		<b>○服薬支援</b> 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	個々の薬の目的や用法・用量を 理解し、誤薬がないように、日 にち・名前を声を出して周りにも 確認できるようにしている。		
48		<b>○役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過 ぎせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	利用者が楽しく自分の力を生か せる役割を担える様支援をして いる。		
49	18	<b>○日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	個々の状態や体調に合わせて、 ホームの周りを車椅子や歩行 器・徒歩で散歩したり、春は花 見、夏は盆踊り・花火、敬老会 ・秋のバラ公園、初詣と季節を 感じる外出も毎年行っている。 年に数回と少ないが利用者全員 で外出の機会を作っている。	日頃から希望により散歩に出 かけ近隣と挨拶を交したり、コ ンビニに買物に出かけたり、ウ ッドデッキで外気浴を楽しむ。 又、家族と外食・受診等に出掛 けたり、季節行事として初詣・ 花見・秋のバラ公園等、地域行 事として夏祭り・学区文化祭等 、普段は行けないような所へ外 出して「非日常」を楽しむこと もある。	
50		<b>○お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	預り金の中から、ご本人の要望 に応じてスタッフが買い物を行 っている。		

自己評価	外部評価	項目( さくらユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご自分で伝えることが出来ない方が多いので毎月スタッフがご家族へ手紙を書き状況を伝えている。ご自分で伝えることが出来る方に対してはご家族に連絡をし、都合の良い時間に電話をかけてもらっている。</p>	/	
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用の空間は清潔を保つように注意している。室内に居ても四季を感じられるように作品を壁に飾っている。</p>	<p>玄関には鉢植え、ホールには秋明菊等、食卓には菜園で摘んだ季節の花が飾られている。正月・クリスマス等、季節行事の飾り付けや利用者で作った書道等の「壁掛け作品」や行事の写真で季節が感じられる。又、天井吹抜けの天窓から明るい光が差し込むが、直射日光を避けるため遮光カーテンが設置されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>テレビの観たい人はテレビの近くに座ってもらい自分の好きな番組を観てもらっている。テレビを観ない人はスタッフと一緒に歌を歌ったり、パズル・カルタなどをして交流している。</p>	/	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室に家族写真・プレゼントを置いている人が多いので、ベッドから見えやすいように配置している。</p>	<p>居室にはベッド・エアコン・チェスト・タンスが備え付けられ、仏壇・テレビ等、使い慣れた物や編み物道具等、好みの物を持ち込み居心地よく過ごせる様にしている。夜間排泄時の転倒防止のためポータブルトイレやベッド下に床センサーマットを設置し、拘束廃止に向けた側面支援を行う時もある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>出来る人には字の練習や本を読んで周りの方に聞いてもらっている。洗濯物を干してもらったり、たたんでもらったりしている。今日の日付・曜日が分かるように手作りカレンダーを壁に掛けている。</p>	/	

自己評価	外部評価	項目( ひまわりユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。</p>	<p>管理者、職員とで現状を踏まえた内容に改訂し、毎日、読み上げている。</p>		
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	<p>1、町内清掃に参加している。 2、施設の災害訓練に地域の方々の参加を頂き実施している。 3、学区文化祭に作品を展示して、参加している。</p>		
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>今後の課題として取り組むことにしている。</p>		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>定期的に地域関係者・団体・家族市役所からの参加を得て意見等を伺い実践に生かしている。</p>		
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営課題についてその都度市担当者と協議・指導を得て取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目( ひまわりユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p><b>○身体拘束をしないケアの実践</b></p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員の研修に努めている。全体会議で職員同士の協力体制の会議をしている。</p>		
7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>職員を研修会に参加させ理解を深めている運営推進会議の議題にも取り上げ意見交換に努めている。</p>		
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>課題が生じた場合、関係機関等の指導を受けて対応している。</p>		
9		<p><b>○契約に関する説明と納得</b></p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入・退居時等に制度・考え方等説明し、理解を得て実施している。</p>		
10	6	<p><b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b></p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議へ家族の出席を得て意見を伺い説明している。</p>		

自己評価	外部評価	項目( ひまわりユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月定期的に会議を設け考え方の説明、現場の意見を聞く機会を設けている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>1、介護度の軽減・努力者に対する支援策がある。 2、定期的に評価基準を設け、給与支援策（入社6年目より3年毎）がある。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>1、研修参加機会の実施している。 2、資格取得費用の支援している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>同業者と勉強会で、サービスの向上へつなげていくにはどうしていくかに留まっているので、今後の取り組みとなる。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>初めにご家族や関係者からよく話を聞いた上で、本人に必要以上に踏み込まないように、嫌がるようなことはあえて聞かないようにしている。どうしても必要な情報はサービス中に掘り下げていくように努めている。また、傾聴の姿勢を心がけ、本人の思いを受け止めるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( ひまわりユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>利用に関してのご家族の質問等に安心して頂けるまで何度でもお答えしたり言いたくないことは無理に聞かないようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人やご家族の話の中から、当ホームで出来ることを具体的に示し、できない場合はできるだけ方策を例示するようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者と同じ目線に立ち、自分であればどうするか、入居者に教えてもらおうという謙虚な姿勢で向き合う様にしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族が知らないような本人の思いや本人の長所をできる限りご家族の伝える様にしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>以前の顔馴染みの方の面会希望があれば、積極的に受け入れ、失礼のない範囲で面会に来ていただけるようお願いをしている。</p>		



自己評価	外部評価	項 目( ひまわりユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係を把握して、一緒に歌を唄ったり、ゆっくりお茶を飲みながら話をする事で、一人ひとりの気持ちが落ち着き、穏やかに過ごせるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院・退所してもこれまでの関係性をたいせつにし必要に応じて本人・ご家族のサポートをし相談や支援に努めている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者一人一人のやりたいこと、どのような思いを抱いているのか傾聴し把握に努めている。困難な場合は、本人本位に考えてスタッフ間検討しながら対応している。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	今までの関係機関やご家族、フェースシートを見たり、本人とコミュニケーションを通して、今までどのように暮らしてきたのか把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人一人の一日の過ごし方、身体状況・精神状況を踏まえて、出来る事(洗濯物干す畳む)出来る事は何か把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目( ひまわりユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>常にスタッフ間で情報交換を行い話し合いをしている。月に一度のユニット会議ではケアプラン作成に向けて意見を出し合っている。医師は往診時にご家族は来所時に意見を頂いている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個人記録への日々の言動や体調等の気づきを記入し、スタッフ全員が情報を共有している。 その情報を元に介護計画を見直しをしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>基本として当グループホーム以外のサービスは利用していないが、本人やご家族のニーズに対応するために、既存のサービスに捉われない柔軟な対応するようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の夏祭りや文化祭に作品を展示する等の参加をしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時にご家族の希望の上かかりつけ医を決めている。ホームの提携医は2週間に1度往診があり、24時間対応してもらえる体制を取っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( ひまわりユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	かかりつけ医の看護師に24時間いつでも相談できる体制となっている。特変時は指示を仰ぎ受診や往診の対応で、病状の重篤化を防いだり、速やかに入院の毎週個々の状態報告している。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はスタッフが付き添い情報提供を行っている。退院時はホームで生活する上での注意点等サマリーを頂いている。入退院時はご家族の相談に応じている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時にご家族へ十分説明し同意を得ている。状態の変化があればその都度ご家族に、医師と共に話し合いを行い、出来る限りホームで支援をしている。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故発生時の連絡網、対応マニュアルをよく見える所に張り出している。全てのスタッフが対応できるようにユニット会議で話し合いの場を設け訓練を定期的に行うようにする。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の消防訓練をスタッフ・利用者の方地域住民も参加してもらい実施している。津波等の水害に備えて裏の高台へ避難訓練(車椅子での訓練)も同時に行っている。訓練には事前に近所にお知らせし参加を呼び掛けている。スタッフの意識を高めるために全体会議でも話し合いを重ねている。		

自己評価	外部評価	項目( ひまわりユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人一人の性格を理解し、動作をするときに、声掛け・説明・同意を得ながら対応するようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者が希望することに対して傾聴の態度を崩さず、自己決定できるように促しや助言を心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日々の生活の様子から本人がどのように過ごしたいのか、希望に添って支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の好みを尊重しつつ、季節に合わせて洋服を入れ替えたり、ご家族に連絡し足りないものを持ってきてもらって清潔を保つように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	準備、調理、片付けが出来る人は、スタッフと一緒にいる。一人一人に合わせた食事形態でしっかり食べて頂けるように工夫をしている。希望する食べ物、メニューを誕生日会・毎週土曜日の手作りに一緒に作り提供し、また、ホームの菜園の野菜も食卓に出ることもある。		

自己評価	外部評価	項 目( ひまわりユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	食事量・水分量を個別記録に記録している。個人の好みに応じておにぎりにしたり、嚥下状態に応じてミキサー食・きざみ食にしている。食事がとりにくい時は補助食品を提供している。水分も1日を通して確保できるよう 本人の希望や状態に応じて提供するようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	自力で出来る方には，声掛け 誘導 見守りで支援している。介助が必要な方にはスタッフが歯ブラシ・口腔スポンジ・歯間ブラシでケアしている。義歯のケアも個々の能力に合わせて支援を行っている。歯科医師と協働した口腔維持支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄確認チェック表に記録しパターンを把握している。随時、声掛け 誘導を行っている。日中は布パンツで夜間紙パンツを使用する方、日中布パンツで夜間パットを使用される方などその方にあった支援を心がけている。オムツ使用で全介助の方の訴えに応じてポータブルトイレで排泄をしてもらっている。		
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便状況を記録し、個々の状態に合わせた対応を決めている。水分をしっかり摂って頂けるように声掛けをしたり、好みの飲水に変えたり、おやつにヨーグルトを提供したり、規則正しい生活ラジオ体操で適度な運動、レクリエーション等で排便リズムを作る様工夫している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	それぞれの体調や希望に合わせて、入浴の日数や時間を決めて入浴して頂いてる。自分で出来る事は行ってほしい、入浴ならではのコミュニケーションを図りながら支援をしている。		

自己評価	外部評価	項 目( ひまわりユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>日々の体調を考えながら臥床す る時間を作っている。利用者の 思いを聞き少しでも心配事が減 るように傾聴し気持ちよく眠れ るように支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>個々の薬の目的や用法・用量を 理解し、誤薬がないように、日 にち・名前を声を出して周りにも 確認できるようにしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>自分で出来る家事・畑仕事・軽 作業・レクリエーションやお花 を育てて鑑賞する等自分に合っ た楽しみを見つけられる様に支 援している。また、誕生日会等 で好きなものを聞いて利用者 の楽しみ事になるように支援を している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。</p>	<p>個々の状態や体調に合わせて、 ホームの周りを車椅子や歩行器 ・徒歩で散歩したり、春は花見 、夏は盆踊り・花火、敬老会、 秋のバラ公園、初詣と季節を感 じる外出も毎年行っている。年 に数回と少ないが利用者全員で 外出の機会を作っている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>金銭管理の出来る利用者は、少 ない額ではあるがお金を自分で 管理して頂いて。時々、買い物 (セブンイレブン)に行き自分 で商品を選んで購入する機会を 作っている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目( ひまわりユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご自分で伝えることが出来ない方が多いので毎月スタッフがご家族へ手紙を書き状況を伝えている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	レクリエーションや日々の生活の中で制作した物、参加した行事での様子を写真に撮り展示している。個々の体調に合わせてエアコンや加湿器などで調整したり、畑でできた花を一緒に摘み出して食卓に飾るなどしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	移動しやすいように車椅子・ソファやテーブルの配置に配慮している。また、利用者同士が自然と歌を唄ったり・談話が生まれやすいように環境を工夫をしている。落ち着いたテレビが観られるようにソファへ誘導したり、CDが聞けるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人が作った作品や家族写真・プレゼントを置いている人が多いので、ベッドから見えやすいように配置している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	場所の表記や物の配置、記名等 生活しやすいように考慮し工夫している。		

V アウトカム項目( さくらユニット ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない



64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目( ひまわりユニット ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームあけぼのあゆみホーム

作成日 平成31年1月24日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		理念の実践・達成度を評価（事業所・職員個人）評価の検証課程を可視化することで、職員間の認識を共有化する必要がある。	理念の実践に向けて事業所・職員個人の目標を決め、振り返りを行う。	職員個人に用紙を渡し半年の目標を書く、3か月で、振り返りを行う事業所も全体会議で目標を決め、職員で共有していく。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。